

令和5年度 関東近県SSH指定校合同発表会

戸山高校からは約110件のテーマで物理部門・化学部門・生物部門・地学部門・数学部門・情報部門においてポスター研究発表に参加しました。関東近県SSH指定校合同発表会の目的は、関東地区におけるスーパーサイエンスハイスクール指定校の生徒たちが、それぞれの学校における研究状況とその成果についての情報・意見交換を行い、生徒一人一人が理解を深め、今後の活動をより充実させる機会を持つことです。

お互いに他校の発表を聞くことができ、交流をととても深めることが出来ました。

今後の研究につながる意見交換ができました。



ポスター会場



開会式



B23 「日焼け止めの光の通し方」



B22 「電磁誘導を使った振動発電」



B4 「三浦海岸と北下浦漁港海岸の砂の発生源」

閉会式での都立立川高校SSHの可長先生（地学）のお話は、簡潔で分かりやすく大変意義深いものでした。「パンフレットを一読しただけでも、多様なタイトル・想像を超えるトピック・curiosityの宝庫だとわかる。パンフレットを大切に振り返ろう、気になるものや『推し』に〇印をつけよう。研究とは『深堀していく』『ハマる』『推しがある』ものである。他者の研究に触れるだけで『面白そうなものがあるな』『自分の研究と似ているな』などと視座が広がっていくはずである。」参加者全員が聞き入っていたお話であり、この一年の研究と献身の集大成である発表会の締め言葉として、生徒達の心に響き、来年度の取組に生きていくと確信します。